

このたびはイヤー・スピーカー**SR-X/MK.3**をお買上げいただき、厚く御礼申し上げます。お使いになる前に、この説明書をよくお読みくださるようお願い致します。

★ 接 続

ステレオ・アンプにアダプター(SRD-6又はSRD-7)を接続して聴く場合についてご説明します。専用アンプSRA-10Sについては同機に添付の説明書をごらんください。

- ① アダプターは、メイン・アンプのスピーカー端子に接続します。それ以外のものには接続できません。
 - ② まずアンプの電源スイッチが切れていることを確認してから、アンプのスピーカー端子につながれているスピーカー・コードをはずします。
 - ③ アダプターの入力コードを、図のように、アンプのスピーカー端子につなぎます。コードの色別は、**白=左+**／**青=左-**、**赤=右+**／**黒=右-**です【右図参照】
 - ④ 球式アンプでは**8Ω**が+(プラス)、**0Ω**が-(マイナス)です。
 - ⑤ 入力コードの芯線は先端をよく束ねておき、線がはぐれてアンプの金属部分に触れぬようご注意ください。
 - ⑥ はずしたスピーカー・コード(②参照)は、アダプター背面のスピーカー端子につなぎます。スピーカーを使わない場合は、この端子は遊ばせておきます。
 - ⑦ つぎに**アダプターの電源コードを電灯線コンセント**(又はアンプのACアウトレット)に挿入します。
- 【SRD-6は電源スイッチが附属していません。SRD-7は切換スイッチが電源スイッチを兼ねており、LOUD-SPEAKERのポジションにすると、自動的に電源が切れます】
- ⑧ 最後に、イヤー・スピーカーのプラグを、凸線を上にして、アダプター前面の6極コンセントに挿入します。

- ⑨ アンプの電源をつなぐとき、或は、イヤー・スピーカーとスピーカーを切換えるときは、ボリュームを十分に小さく絞っておきます。
- スピーカー再生のときは、アンプの出力はアダプターを素通りするので、音質はまったく変化しません。

★ 取 扱

- ① イヤー・スピーカーは高温／高湿の場所を避けてください。
- ② 周波数特性がフラットなので、トーン・コントロールで**低音／高音を強調しないようご注意ください**。
- ③ 歪感が無いので、つい音量を大きくしがちですが、**過大入力を加えないようご注意ください**。
- ④ 振動膜は極薄のフィルムですから、使うとき**ケース本体を抑えつけないようご注意ください**。
- ⑤ ターン・テーブルのゴロゴロいう雑音やテープのヒス／レコードのスクラッチが目立つときは、再生機器の各パーツをよく調べてください。
- ⑥ イヤー・スピーカーを使わないときでも、プラグを引抜く必要はありません。
- ⑦ 耳当パッドの清掃には、アルコールを軽く含ませたガーゼをお使いください。汗でお困りのときは、ガーゼを1～2枚パッドに当てがうと楽になります。
- ⑧ 耳当パッドが破損したときは、古いパッドを静かに剝がし、パッド・ベースに残った粘着テープに、新しいパッド(別売)を押しつけて接着してください。
- ⑨ バネが強すぎて耳に苦痛を感じるときは、2本のバネを耳の近くで**軽く外へ**曲げてください。但し、バネが弱くなりすぎると、不安定になったり、低域再生能力が悪くなるので、試聴しながら、少しづつ曲げるようにしてください。